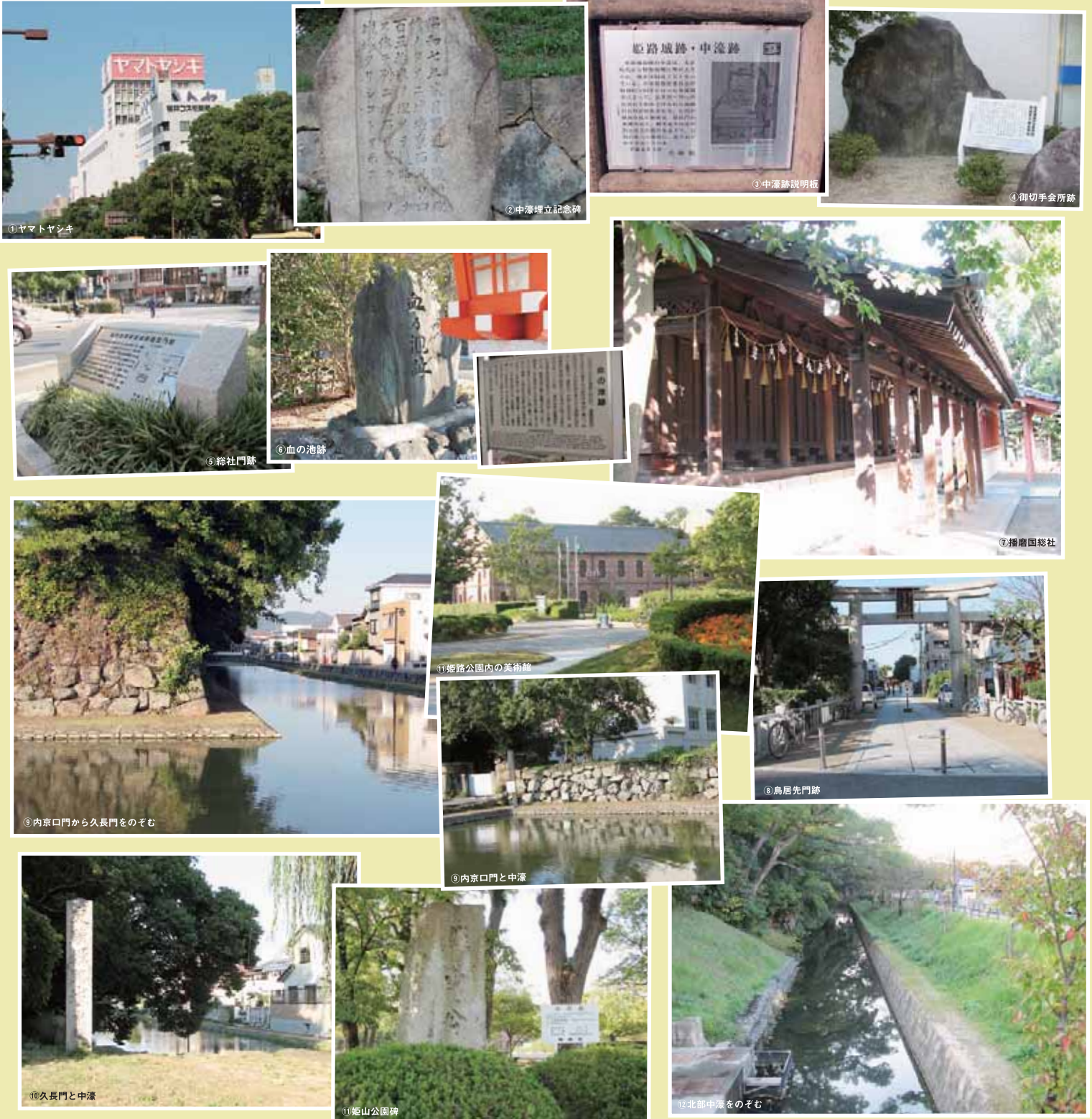


姫路城「東部中濠」界限



国道2号線に意外な事実が! 総社は何処に? こんな所にお濠がある・・・
美しい姫路公園群とお濠に囲まれた姫路城東部中濠界限を歩いてみませんか?





姫路城「東部中濠」 界限

国道2号線に意外な事実が! 総社は何処に? こんな所にお濠がある・・・
美しい姫路公園群とお濠に囲まれた姫路城東部中濠界限を歩いてみませんか?

1 ヤマトヤシキ



戦後米田まけん堂を中心に地元商店が集まり「ヤマトヤシキ」の母体ができ現在の百貨店となりました。

2 中濠埋立記念碑

南部中濠は大正元年頃から埋め立てられ昭和8年白鷺橋の完成で国道2号線に生まれ変わりました。

3 中堀跡説明板

昭和62～63年国道2号線発掘調査で南側の石垣を検出しました。現在、歩道に敷かれた鉄平石でその場所(石垣の跡)を知ることが出来ます。

4 御切手会所跡

姫路藩の名家老河合寸翁が藩財政建て直しのために1821年開設した切手会所の跡です。姫路特産の木綿などの専売で藩財政を立て直しました。

5 総社門跡



総社の西門筋に開くことからこの名が付きましました。現在、市民会館の西に石垣が一部残っています。北に初期藩校「好古堂」がありました。

6 血の池跡

この辺りは本町遺跡と呼ばれ播磨国司の役所の中心付近に位置する可能性が極めて高いと言われています。血の池はかつての藍染川の跡と言われ、神事で刀を使った時の傷をこの池で洗うと止血したとされたのが命名の由来とされています。

7 播磨国総社



境内に入って正面にあるのが射楯兵主神社。裏手に祀られているのが播磨国内大小明神174座を合わせ祀った播磨国総社です。国司による参拝を一箇所で出来るよう簡略化したものです。11月に行われる「霜月祭」は播磨の秋祭りを締めくくります。国・県・市指定の文化財も沢山あります。境内西側の朱塗りの門内の展示室も必見です。

8 鳥居先門跡

他の門と異なり枡形や土橋が無く、太鼓橋を渡り大鳥居に至ります。中濠埋立時、門と土壘は撤去され今は跡形もありません。石造り鳥居は慶安5年榊原忠次が寄進しました。年号と寄進者が刻んである鳥居では姫路で最も古いと言われています。

9 内京口門跡

ここで突然水を湛えた中濠と内京口門の跡を示す石垣が現れます。濠と土壘は北へ延びて野里門へつながります。絶好の散歩道、歴史を感じる所です。

10 久長門跡

ここで中濠を左に折れて久長門(旧久長町にあった)の石垣跡や中濠を示す石碑を見ながら姫山公園を目指します。やがて、公園の向こうに美しい姫路城の天守群が眺められる通りへ出ます。

11 姫路公園

姫路公園は世界文化遺産姫路城を中心として整備された都市公園の総称で中濠に囲まれた中曲輪にあります。日本の歴史公園100選にも選ばれています。旧陸軍の兵器庫を活用した美術館や姫山公園もその一部です。

濠のそばには「中濠」の石碑が5ヶ所(このコースでは2ヶ所)建っています。探してみてください!

12 野里門跡

野里町への出入りの門だったが明治に入り道路建設のため取り壊されました。現在土壘と濠が昔の面影を残しています。野里門跡を過ぎると河間町、坊主町など北部中濠へ続きます。閑静な濠と桜並木が待っています。時間に余裕のある方は野里に向かい、町屋散策などいかがですか?



ちょっとお勉強。

中濠界限で生まれた人物往来



都築正男
(1892～1961)
名誉市民第一号
医学博士。
広島・長崎の被爆に際し救護と療法の研究に献身



辻善之助
(1877～1955)
文化勲章受章。
日本仏教史を確立させた仏教研究の権威。初代東大史料編纂所長。



井上通泰
(1866～1941)
歌人。眼科医ながら詩学、歴史学、地理学など多岐に渡って研究を続けた在野の学者。実弟・柳田国男(民俗学者)松岡映丘(日本画家)ら大成させた育ての親。



初井しづ枝
(1900～1976)
歌人。
北原白秋に師事。「コスモス」創始同人の一人。今日の姫路歌壇の教祖的存在。